

岩手・宮城県際ネットワーク

－平成23年8月15日発行－（担当公所：岩手県県南広域振興局）（第120号）

●編集・発行 地域づくり団体ネットワーク岩手・宮城県際交流会事務局

岩手県 県南広域振興局経営企画部 TEL 0197-22-2812 <http://www.pref.iwate.jp/index.rbz>

岩手県 沿岸広域振興局経営企画部大船渡地域振興センターTEL 0192-27-9911 <http://www.pref.iwate.jp/index.rbz>

宮城県 北部地方振興事務所栗原地域事務所商工・振興班 TEL 0228-22-2195 <http://www.pref.miyagi.jp/nh-khsgsin/>

宮城県 東部地方振興事務所登米地域事務所商工・振興班 TEL 0220-22-6112 <http://www.pref.miyagi.jp/et-tmsgsin/>

宮城県 気仙沼地方振興事務所 商工・振興班 TEL 0226-24-2593 <http://www.pref.miyagi.jp/ks-tihouken/>

謹んで震災のお見舞いを申し上げます。

このたびの東日本大震災で被災された皆様に
心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復旧、復興を心よりお祈り申し上げます。

圏域情報

営推進費事業で支援しています。

■問合せ先

道の駅かわさき(ドンと市かわさき)

電話 0191-36-5170

◆◆◆◆ 岩手県県南広域振興局 ◆◆◆◆

「被災地支援セール」開催

一関市川崎町の“道の駅かわさき(ドンと市かわさき)”において、「被災地支援セール」を開催しています。

これまでのセールでは、大船渡市、気仙沼市、南三陸町等の業者さんが出店しています。

“道の駅かわさき”が行っている支援の内容は、次のとおりです。

- ・ 販売用テント、陳列台用コンテナ等は無料
- ・ チラシの無料作成(3グループ以上出店時)
- ・ 店頭での対面販売の売上手数料は無料

この「被災地支援セール」は随時受け付けていますので、詳しくは“道の駅かわさき”へお問い合わせください。

なお、この支援セールは、平成23年度地域経

◆◆◆◆ 岩手県沿岸広域振興局経営企画部

大船渡地域振興センター ◆◆◆◆

「奇跡の一本松」が復活再生！

陸前高田市の名勝で日本百景の一つ「高田松原」には2kmにわたって約7万本の松が植えられ、白砂青松の海水浴場として夏場に大勢の観光客が訪れ賑わいました。その松林は、平成23年3月11日の東日本大震災津波に飲み込まれ、一本を残すのみとなりました。高さ30m、樹齢260年を超えるこの老松は、現在、陸前高田市の復興の象徴として「奇跡の一本松」と呼ばれ、市民から親しまれています。



しかし、津波による海水の塩害で青々と茂っていた葉が赤茶色に変色し、立ち枯れる心配がありました。このため独立行政法人森林総合研究所林木育種センター東北育種場(岩手県滝沢村)が接ぎ木に取り組み、奇跡の一本松の遺伝子を持ったクローンを生かすことに成功したと6月14日に発表しました。この朗報に地元では、保存活動に取り組む市民から「復興の第一歩として夢を与えてくれる」と歓喜の声が上がりました。また、後日、一本松以外に高田松原で生き残っている松の木がほかに2本発見されました。既に落葉して立ち枯れたと思われていた木々が生きていたことが分かり、朗報が再び市民を元気付けています。

■「奇跡の一本松」の問合せ先

高田松原を守る会 会長 鈴木善久
電話 0192-55-4843

◇◆◆◇ 宮城県北部地方振興事務所 栗原地域事務所 ◇◆◆◇ 「くりはらツーリズムネットワーク」が みやぎ地域づくり団体協議会に入会しました。

平成23年5月にみやぎ地域づくり団体協議会に入会した「くりはらツーリズムネットワーク」を御紹介します。

くりはらツーリズムネットワークは、地域の資源を活用した交流の盛んなまちづくりによって「くりはら田園観光都市」を創造するため、地域の文

化や産業、歴史、風景などの生活空間、そこに住む人そのものを地域資源とした体験型ニューツーリズムの創出を図ることを目的とし、平成22年3月に設立されました。

くりはらツーリズムネットワークは設立からまだ日は浅いですが、会員には直売所や農産加工組合、農家民宿、農家レストランなど、以前から活動されている方々が多く、意欲と熱意、そして実行力あふれる人が集まっています。

活動内容は、一般の方向けに様々な体験会(そば打ち体験&ブルーベリーの摘み取り体験会、奥州街道散策会など)を開催するほか、都市部の大学生など、若者に地方の暮らしを体験してもらう「栗原市地域づくりインターン(若者の地方体験交流)事業」やワーキングホリデー、体験活動、民泊の受け入れなど、様々な交流事業に取り組んでいます。また、会員相互の活動視察や会員向けの研修会を開催することで、会員が学び、交流する場を設けるほか、会報誌の発行や公式ウェブサイトの運営を通して活動情報の発信も盛んに行っています。

なお、新規会員も随時募集しておりますので、興味のある方は、公式ウェブサイトをチェックしてみてください(ツーリズムを実践している又はツーリズムに興味がある栗原市民(個人、団体)が対象です)。



そば打ち体験



ブルーベリーの摘み取り体験

■公式ウェブサイト

<http://ktnpr.web.fc2.com/>

■公式ブログ

<http://kuriharatn.blog24.fc2.com/>

■問合せ先

くりはらツーリズムネットワーク事務局
 〒987-2216 宮城県栗原市築館伊豆 2-6-1
 栗原市市民活動支援センター貸事務室
 電話 0228-23-0050(午前10時～午後5時)
 ※日・月定休(月曜日が祝日の場合、火曜日休み)
 E-mail kurihara.tn@gmail.com

◆◆◆◆ 宮城県気仙沼 地方振興事務所 ◆◆◆◆
気仙沼市の仮設住宅敷地内に
仮設のコンビニエンスストアが開店！！

気仙沼公園の仮設住宅敷地内に、宮城県内の仮設住宅敷地内では初めてとなるコンビニエンスストアの仮設店舗が7月27日にオープンしました。この仮設住宅周辺には、食料品等を購入できる店舗がなく、一番近くの商店までは、坂道を歩いて15分かかるため、仮設住宅の利便性を高め、移動が困難な高齢者の方々などの支援をすることを目的として設置されました。更に、仮設住宅周辺の地域コミュニティの形成の場としても期待されています。



この仮設店舗のオーナーは、東日本大震災の津波により、以前の店舗が全壊してしまいましたが、今回の出店により再起を図るとのことです。

店内には、お弁当や惣菜、飲料などの食料品や日用雑貨、その他にも雑誌なども扱っており、周辺に住む方にとって必要なものを取り揃えています。その他にも、ATMの設置、日替わりの弁当や惣菜などの各戸配達を行うなど、仮設住宅入居者の利便が向上することとなりました。

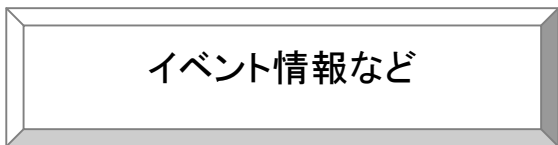
同店舗では、今後、気仙沼漁港を中心とした近隣地域で移動販売車を稼働させる予定としており、地域住民への支援の幅が広がることが期待されます。

■場 所

気仙沼公園(宮城県気仙沼市笹が陣4)

■問合せ先

気仙沼市産業部商工課
 電話 0226-22-6600(内線 523)



◆◆◆◆ 岩手県南広域振興局 ◆◆◆◆
全国地ビールフェスティバル開催

今年も、恒例の「全国地ビールフェスティバル in 一関」が開催されます。

今年は、これまでで最多となる70社が参加し、盛大に開催されます。



昨年につき、全日本エレクトリック音楽祭も同時開催されますので、音楽を聴きながら地ビールを楽しむイベントです。是非おいでください。

■開催日時

8月19日(金)午後5時30分～8時
 8月20日(土)午前11時～午後8時
 8月21日(日)午前11時～午後6時

■場 所

一関文化センター前広場

■問合せ先

(社)一関観光協会 電話 0191-23-2350
 一関市役所商業観光課 電話 0191-21-8413

◆◆◆◆ 岩手県沿岸広域振興局経営企画部
 大船渡地域振興センター ◆◆◆◆
「三陸港まつり」今年も開催

大船渡市三陸町越喜来では、夏の風物詩「三陸港まつり」(同実行委主催)が開催されます。今年は会場を三陸公民館に移し、例年のメインイベントである越喜来漁港の灯籠流しの代わりに、地元寺院からの灯籠行列と会場供養を行い、地元郷土芸能が奉納されます。北里大学海洋生命学部同窓会「三水会」から支援を受け、鎮魂と復興の祈りを込めた祭りが開催されます。また、熊本県水俣市の村おこし施設「愛林館」の協力で竹製たいまつ 311 個の「送り火」をともしほか、

越喜来漁港水門から約 80 発の追悼花火が打ち上げられます。

■開催日時

平成 23 年 8 月 16 日 (火)
 午後 3 時～午後 9 時 30 分 雨天順延

■場 所

大船渡市三陸町越喜来前田 36-1 三陸公民館

■問合せ先

大船渡市商工観光部商工観光物産課
 電話 0192-27-3111

陸前高田市「復興街づくりイベント」開催
陸前高田の「元気」のきっかけと「夢」を集める日
1万人の集客を目指します!

陸前高田市で8月27・28日の両日、高田小学校を会場に「復興街づくりイベント」(市・商工会・青年会議所などで構成する実行委主催)が開催されます。被災した地元事業者(飲食店・衣料品店など)が60店舗を出店するほか、全国の応援自治体(B級グルメを振る舞う団体など)から30店舗以上が集まります。会場は「街興し」と「夢興し」の2つのゾーンからなり、「街興し」ブース(屋外)では地元企業や公共団体などによる街並み再現を、「夢興し」ステージ(屋内)ではパネルセッション、ショートプレゼンテーション、スペシャルライブ、アトラクションなどが行われます。

また、津波で校舎が全壊した県立高田高校の文化祭が併催(28日)されるほか、目玉となる人気アーティストのスペシャルライブが予定されており、1万人の集客を目指します。

市外からの来場者は、入場料 3,000 円のチケット(2,000 円分の会場内限定金券付き)を購入して入場します。陸前高田市民は 1,000 円分の金券付き入場券が配布されます。

なお、開催当日は、仮設住宅と会場を巡回する無料シャトルバスが運行されるほか、旅行会社が企画するツアーも計画されています。

■開催日時

平成23年8月27日(土)開場午前11時

8月28日(日)開場午前10時

■場 所

陸前高田市立高田小学校(校庭・体育館・校庭下の市有地)陸前高田市高田町字下和野1

■問合せ先

陸前高田市商工観光課

電話 0192-54-2111

◇◆◆◇ 宮城県北部地方振興事務所

栗原地域事務所 ◇◆◆◇

くりはら博覧会 “らいん” 開催

平成23年10月1日から31日までの一ヶ月間、栗原市内で、集中型イベント「くりはら博覧会 “らいん”」を開催します。

今年度の「くりはら博覧会 “らいん”」では、1人ツーリズム、2人ツーリズム、〇〇ツーリズムと、1人での参加、友達、彼氏・彼女や、女性・男性同士、家族、仲間など、どなたでも楽しく参加頂けるように、前回のプログラム数より多い、45プログラムを準備いたしました。

栗原の食や文化、伝統の技、さらには体験ものなどを通して、栗原の魅力を感じて、くりはら時間を過ごしてみませんか？

イベントとして、9月10日栗駒文字地区にて「手前味噌で、シソ巻き作り体験」(主管 もんじ加工組合)を開催いたします。詳細は8月中旬(予定)にHPに掲載いたします。

～“らいん”に込めた3つの思い～

事業名「くりはら博覧会 “らいん”」の“らいん”には3つの思いを託しています。

まず一つ目は栗原の方言である「らいん」です。栗原の人々は、何かを呼びかける際に親しみをもって、「〇〇らいん」と言います。

食べ物を振る舞う際の「食べらいん」、家に招き入れることを「上がらいん」、こたつにあたるときに

は「入らいん」など、「らいん」や「いん」を語尾につけて誘われると、知らない人でも昔からの知り合いのように仲良くなれます。栗原の懐の深さを発揮して、栗原の魅力をプログラムとして提供していくというコンセプトを表しています。

二つ目は、“らいん”を通じてこれまで点で活動していた会員がつながり、「線=line(らいん)」となって、広い栗原市に張り巡らされるようにとの意味を込めています。

そして三つ目は、くりはらツーリズムネットワークという団体が進むべき道「道=line(らいん)」の方向性を“らいん”を通じて見つけていくことです。

このような思いの形が「くりはら博覧会 “らいん”」なのです。



江戸時代の調味料で堪能する、旬な野菜の創作料理



ソーセージ作り体験

※写真は、平成23年3月に開催した“らいん”のものです。

■公式ウェブサイト

<http://ktnpr.web.fc2.com/>

■公式ブログ

<http://kuriharatn.blog24.fc2.com/>

■問合せ先

くりはらツーリズムネットワーク事務局
〒987-2216 宮城県栗原市築館伊豆 2-6-1
栗原市市民活動支援センター貸事務室
電話 0228-23-0050(午前10時～午後5時)
※日・月定休(月曜日が祝日の場合, 火曜日休み)
E-mail kurihara.tn@gmail.com

◇◆◆◇宮城県東部地方振興事務所

登米地域事務所◇◆◆◇

登米市復興軽トラック市

震災の影響により遠のいている観光客の誘致を図り、交流人口の拡大を図るとともに、地域の農産物や特産品を販売する場の提供を目的とした第2回目の「登米市復興軽トラック市」が佐沼大通り商店街で開催されます。

当日は、市内のみならず南三陸町をはじめとした近隣市町からも農・海産物や加工品等が販売されますので、多くの皆様のご来場をお待ちしています。

■開催日時

平成23年8月20日(土)
午前11時～午後6時

■場 所

佐沼大通り商店街 錦橋たもと
たけやまさん前(旧ベルプラザ跡地)

■問合せ先

(社)登米市観光物産協会
電話 0220-52-4648

南三陸復興支援・みやぎ「道の駅」

フェスティバル(仮称)

県内「道の駅」が中核となり、東北・全国道の駅ネットワークの支援のもと、南三陸復興支援等を目的とした、みやぎ「道の駅」フェスティバル(仮称)が開催されます。東北や全国「道の駅」の特産品販売や「登米市復興軽トラック市」をはじめ、道の駅「津山」恒例のもくもく「活きな」もちまき大会や「南三陸復興市」などの催しもあります。さらに、南三陸町や登米市の各種伝統芸能・ステージイベント等盛りだくさんの催しを予定しておりますので、多くの皆様のご来場をお待ちしております。

■開催日時

平成23年9月17日(土)～19日(月・祝)
午前10時～午後3時

■場 所

道の駅「津山」もくもくランド

■内 容

- ・「道の駅」特産品販売
- ・南三陸復興市
- ・登米市復興軽トラック市
- ・もくもく「活きな」もちまき大会
- ・伝統芸能・ステージイベント ほか

■問合せ先

(社)登米市観光物産協会
電話 0220-52-4648

登米市観光物産大博覧会 2011

～宮城の元気は登米から!～

登米圏域の観光と物産の復興を全国に発信するため、登米市内の観光・物産及び体験施設などが一堂に会した「登米市観光物産大博覧会 2011～宮城の元気は登米から!～」が開催されます。

登米産の米を使った料理コンテスト「Rice-グランプリ～う米(まい)もんフェスティバル～」や県内

の鍋料理を集めた「伊達な鍋まつり」のほか、市内の体験スポットの紹介や復興軽トラ市による物産販売など、多彩な催しが開催されます。

秋の行楽メニューに加えていただき、登米の祭典をお楽しみください。

■開催日時

平成 23 年 10 月 1 日(土)～2 日(日)
午前 10 時～午後 4 時

■場 所

登米市登米町 登米総合体育館(とよま蔵ジ
アム)、みやぎの明治村各施設ほか

■内 容

第 1 会場(蔵ジウム)

- ・観光PRエリア
- ・岩手・宮城県際広域連携エリア
- ・体験型ツーリズムエリア 他

第 2 会場(蔵ジウム前広場)

- ・登米復興軽トラ市&復興大市
- ・伊達な鍋まつり
- ・Rice-1グランプリ 他

第 3 会場(遠山之里 他)

- ・建築ツーリズム
- ・隈研吾建築都市設計事務所
パネルディスカッション
- ・第 23 回とよま茶会 他

第 4 会場(高倉勝子美術館 他)

- ・町中ミュージアム
- ・こどもアートフェスティバル
- ・人力車運行 他

第 5 会場(祝祭劇場 他)

- ・震災復興支援コンサート 他

■問合せ先

(社)登米市観光物産協会
電話 0220-52-4648

◇◆◆◇ 宮城県気仙沼

地方振興事務所 ◇◆◆◇

南三陸町復興市

「南三陸町復興市」は、津波により被災した通称「志津川おさかな通り」の商店主や地元の有志が町の復興を目指して立ち上がり、開催している青空市です。地元商店の商品や復興応援グッズなどが売られています。更に、全国の 18 地区の商店街が、「防災」の一点で手を結ぶ「ぼうさい朝市ネットワーク」をはじめ、近隣の自治体、観光物産協会や NPO などの支援により、全国各地の特産品や日常雑貨も並びます。

■開催日時

毎月最終日曜日 午前 10 時～午後 2 時

■場 所

スポーツ交流村「多目的広場特設会場」
(宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田 56)

■問合せ先

復興市実行委員会事務局
電話 090-7077-2550



◇◆◆◇ 岩手県南広域振興局 ◇◆◆◇

酒かすパウダー入り入浴剤発売

たびれっじ推進協議会(一関市)では、東日本大震災で被害を受けた方々と一緒に事業を行うことで、少しでも生活の支援につながることを願い、設備もいらず、省スペースで、時間の有効活用できる「入浴剤づくり」を行っています。

現在、大船渡の女性グループ(マザーズネット大船渡)と一関市に避難している気仙沼市と陸前高田市の女性の方と一緒に入浴剤作りを行っています。

この入浴剤は、岩手県の地酒「世嬉の一(一

関市)」と「鷲の尾(八幡平市)」の酒かすを粉末状(パウダー)にして練り込んでいます。

これまでに様々なイベント等でこの入浴剤は販売され、多くの方々に購入していただいています。



■問合せ先

たびれっじ推進協議会
電話 0191-31-6007

◆◆◆◆ 宮城県北部地方振興事務所 栗原地域事務所 ◆◆◆◆ 「東日本大震災支援ネットワークくりはら」

栗原市内では、南三陸町からの被災者の受け入れや支援物資の提供など、行政・民間問わず、多方面で東日本大震災の被災者に対する支援の輪が広がっています。今回は、特定非営利活動法人 Azuma-re が事務局として活動している「東日本大震災支援ネットワークくりはら」の活動を御紹介します。

東日本大震災支援ネットワークくりはらは、震災直後から支援物資の提供を呼び掛け、生活雑貨品全般の無料提供を行う「東日本大震災支援NTくりはら」とお茶わんなどの食器を中心とした生活必需品の無料提供を行う「お茶わんプロジェクト」の二つの被災者支援事業に携わってきました。衣類やおむつなどの生活雑貨品の提供は、

栗原市内で避難生活を送る被災者向けの支援ですが、「お茶わんプロジェクト」では、津波で食器を失った人のため、沿岸部の被災地にも足を運び、食器類の提供を行っています。全国各地から提供された支援物資は、被災者の生活再建の一步として非常に役立ちました。その他の活動としては、ボランティア活動をしたい方とボランティアに来てほしい方のマッチング支援なども行っています。

東日本大震災支援ネットワークくりはらは、みやぎ地域づくり団体協議会栗原支部会員の「IT同好会・フレッシュパール会」、「築の市実行委員会」、「くりはらツーリズムネットワーク」のほか、市内の様々な団体と協力し、被災者支援に取り組んでいます。まさに、栗原の人材・物資・ノウハウのネットワークを活かした被災者支援活動組織です。

今回の活動を通してさらに強まった地域づくり団体のネットワークは、被災者支援以外の活動にも活かされていくことでしょう。



お茶わんプロジェクト



物資の仕分け



物資の搬送

■問合せ先（事務局）

特定非営利活動法人 Azuma-re

電話 0228 - 22 - 1905